

いつもの公園が、プレーパークに大変身!

11月17日
日曜日
10:00-15:00

出張プレーパーク

越谷市科学技術体験センター
ミラクル前
七左第4公園
(越谷市新越谷 1-60)
※雨天決行、荒天中止

申込不要です。遊びに来てね。

LINE@はじめました)

友だち追加でプレーパーク
開催情報をお届け
検索 ID @uma7387b



11日はお買い物で応援を

【イオンせんげんだい台店】で11日にお買い物すると、プレーパークの活動をお手伝いできます。イオンイエローシートを「NPO 法人越谷にプレーパークをつくる会」のBOXへ入れてください。お買上げレシート合計金額の1%と同額の品物が寄贈されます。活動にとっても役立っています。



越谷にプレーパーク

をつくる会 通信

～ プレーパークの冬のあそび～

Q 冬は何をして遊ぶんですか？



「冬は何をして遊ぶんですか？」こんな質問をされることがあります。言わずもがな夏の原っぱ公園は水遊びに泥遊びに大盛り上がりですが、寒くなってくるとどんな遊びが繰り広げられるのかなかなか想像できませんよね。しかし、寒～い冬だからこそ！感じられる魅力もあるのです。



一つ目は火の「温かさ」。

マッチで起こす火に四苦八苦しながらも、やっと起こした火にはあつという間に人が集まります。最近は本物の火に触れる機会がめっきり減りました。子どもたちは焚き火のパチパチという音や煙の匂い、火の温かさに興味津々です。そしてあつという間に焼マシュマロをつくる子でいっぱいになります。かまどの中には大人たちが仕込んだ焼き芋や焼きリンゴもいつの間にかあります。



温かい火を囲み、温かい食べ物を食べ、ホッとする時間がそこには流れます。
●やかん、焼き芋、焼きリンゴ

二つ目の魅力は「じっくり」遊べること。

寒い時期は、ベーゴマや凧揚げなどの昔遊びや、毛糸を使った工作、木工など、集中するような遊びが増えます。昔遊びの定番といえばベーゴマですが、これがなかなか難しいのです！紐の巻き方や回し方、台に乗せるコツなど、その場に集まった親子で教え合いながら、何回も挑戦して覚えていきます。大人の方がハマってしまい、いつの間にか子どもたちはチャンバラをしているなんてこともしばしば(笑)



●指編みに夢中になる子どもと大人

三つ目は思いがけない「発見」に出会えること。ザクザク触感の霜柱。暖かい日差しで地面から沸き立つ湯気。真冬にも関わらず水遊びを始める子ども。偶然見つけた冬眠中の芋虫。次はどんな発見があるかいつもワクワクしてしまいます。

冬は寒いし…と敬遠していた方、ぜひ今年の冬はプレーパークで一緒に遊みましょう！（とまと）

地域の皆さん

ありがとうございます

荒井畳店さま 坂本さま 山崎さま
カスミフードスクエア越谷大袋店さま
加藤工務店さま 樺(けやき)組さま
タイヤガーデン越谷さま
ドラッグストアセキ花田店さま
日本工業大学さま 丸孝木材(株)さま
(株)山下工務店さま
木材・工具・竹・タープ・古タイヤ・ダンボール・お野菜などを提供いただいております。

会員になってプレーパークを応援しませんか

全国各地で400を超える団体が冒険遊び場づくりに取り組んでいます。現在、NPO法人越谷にプレーパークをつくる会は、正会員35名、賛助会員4名です。会員が増えると開催日も増えて、プレーパークがもっと身近になります。応援してくれる人を募集しています。

- 正会員 2000円/年
(活動趣旨に賛同し積極的に応援)
- 賛助会員 1000円/口 何口でも！
(財政的にサポート)

会費・寄付金は郵便振替でもお受けしております。

00540-2-78897 NPO法人越谷にプレーパークをつくる会

『モットーは自分の責任で自由に遊ぶ』

普通の公園が禁止事項ばかりなのは、何かあったときに「公園をつくった人が悪い」と管理者の責任を追及する傾向があるからです。子どもが公園で自由に遊ぶには、「事故は自分の責任」という考え方が基本です。

プレーパークって？

「〇〇してはいけません」という禁止事項のない遊び場。何をしてもいい、なにもしなくてもいい。穴掘り、木登り、泥んこ遊びや火を使った遊びなど、子どもたちが「やりたい!」と思ったことを自由にできるように、大人たちが知恵を出し合って運営しています。



そうしないと禁止事項ばかりが増えてしまい、結果、子どもが自由にチャレンジする機会を奪うことになってしまいます。子どもが思いっきり遊べる場所をみんなの力で作りましょう!

プレーリーダーって？

子どもととことん遊び、ありのままを受け入れ、遊び全体に目を配ります。遊びの種を蒔き、遊びを通して子どもたちの相談相手にもなってくれる、親でも先生でもない子どもと対等な大人です。遊びに伴う危険を予測して対応し、遊び場の整備なども行います。

NPO 法人 越谷にプレーパークをつくる会

みんなの遊びっぷりをブログで
たっぷり紹介しています ⇒⇒⇒
Facebook もやっています。



MAIL koshigaya.asobo@gmail.com
TEL 090-7411-4693 (瀏野)
FAX 048-978-3817



「まなざし」のある地域をつくりたい！

2019.09.29.子育て講演会をミラクルで開催しました

遊びと学びと自己肯定感のつながり ～子どもの習い事を始める、その前に～



●後半のディスカッションは質問も交えながら。「もっともっと聞きたいです。朝まで聞いていたい、語りあいたいです！」こんな声も頂きました。

NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会代表 **関戸博樹**氏

大切なことは「自分で決めて自分でやる！」。遊びはこれの連続。「自分のものさし」を育てることで根拠のない自信が生まれる。遊ぶことと自己肯定感とは密接につながっていて、遊ぶことで土台ができる。

子ども環境デザイン研究所代表 **矢生秀仁**氏
一見、何の成果もなさそうな遊びの意味は数十年後にきいてくる。大人になった時に「自分を好き」かどうか。その「好き」は、他者評価で得られる優越感ではなく自己評価による満足、自己肯定感であり、その土台を作っているのが遊び。遊ぶ子どもを信じて。

当代表理事 **瀧野彩子**
自信と自己肯定感は似ているようで違って。自信は与えられたことが達成できて得られるもの。自己肯定感はあるままの自分が認められて得られるもの。このありのままのあなたでいい時間を遊び場を通して作りたい。

子どもの「遊び」がもたらす豊かさに気づかせてもらった2時間となりました。NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会代表の関戸博樹さんと子ども環境デザイン研究所代表の矢生秀仁さん、お二人の講演と当代表理事瀧野を交えたディスカッション。一言ひとことが、聴く人、一人ひとりの心に手渡されるかのようでした。

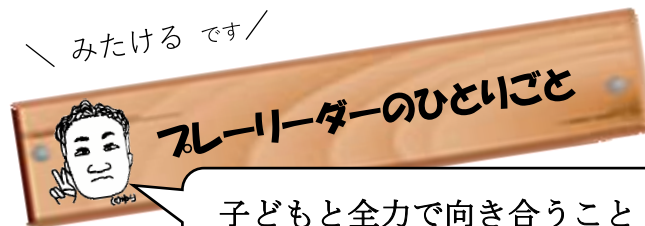
習い事は焦らずに、子どもたちが自らやりたい！と思っているこの「遊び」にこそ実はとても意味があるのですよ、と分かりやすくお話してくださいました。

この講演会は半年以上かけて準備し、越谷市しらこぼと基金の助成と越谷市からの後援を受け開催することができました。講師お二人のアドバイスも頂きながらタイトルから全て頭をひねりながら作り上げました。私たちは、遊びがもたらす豊かさを多くの人に気づいてほしいと思っています。気づくことであたたかな大人の「まなざし」が生まれます。子どもがいきいきと遊ぶ町は、大人も元気になります。越谷市にプレーパークがあつて良かった、一人でも多くの人にそう感じてもらいたい。講演会アンケートでは満足度100%！まずはその第一歩を踏み出すことができました。講師のお二人に心から感謝いたします。(かなもん)



●「大体講演会という静かにしなければいけない空気感がありますが、親子参加でにぎやかで逆に聞きやすかった」こんな声も頂きました

みたける です！



子どもと全力で向き合うこと
～気持ちを受け止める～

今回は子どもと全力で向き合うことについて、思っていることを書きたいと思います。遊びに来る子どもの中に『何かを抱えていそうだな』と感じる子どもがいます。その子は来るなり僕のところに来て、戦いごっこみたいな遊びになり、いつの間にか戦うことになっていること多くあります。その子の何かライラしている感じが、戦いながら伝わって

きます。

子どもも大人同様に学校や人間関係でストレスを感じています。発散する場所、ただ話を聴いてくれる人、そういった環境が無くなりつつあるのではないかと僕は思います。子どもたちはどこでその感情を発散するのだろう、と。

だから僕は、全力でその子がしたい事を受け止められる人になれたらいいなと思っています。こんな気持ちで子どもと向き合っています。

全力で発散した子たちは、帰り際笑顔で帰って行きます。それがなぜか嬉しく思う日々です。



中学生のお兄さん



9月の東越谷プレーパークは、卒業した中1の男子2人が遊びに来てくれました。部活動で忙しいようですがこの日はのびのびとしていました。思いっきりドッチビーをしたり、ひたすら火を燃やしたり、もはや風格さえ感じる遊びっぷり。

年上のお兄さんがいると雰囲気は全く違います。彼らが何をしてるか、みんな興味津々でした。プレー


リーダーが増えたようでとても楽しかったです。

また、一足先に秋を感じられたのは、ドングリ拾いでした。今年の東越谷第7公園のドングリはまるまるとしていて大きくて帽子つきもたくさん。マンカラをしたりおままごとをしたり、焼いて食べようとする子もいました。

先輩ママさんが「このドングリの木も昔は小さかったのよ。」と言っていました。

中学生のお兄さん達を見て、ウチの子ども達もすぐ大きくなるのかな？と思ったり。赤ちゃん達を見て、ウチの子大きくなったなあと思ったり。

東越谷はいろんな年齢の子ども達が集まるので毎回親子ともに楽しいです。(クリボー)

大袋プレーパーク 越谷市プレーパーク事業
(西大袋第1号近隣公園内 大袋幼稚園そば)
10:00～15:00 @大袋原っぱ公園(大竹617-1) 小雨決行/荒天中止

ちびころ 小さな子も外遊びを楽しんでほしいと願って作った未就学児の親子の遊び場です。
10:00～13:00 @大袋原っぱ公園(大竹617-1) ※雨天中止(当日Facebookでお知らせ)

東越谷プレーパーク 越谷市放課後子ども教室 (070-2649-0832)
毎月第3土曜日(10:00～15:00・小雨決行/荒天中止) @東越谷第7公園(花田1-4)

- ★持ってくるいいもの：飲み物 食べ物 タオル 着替え(替え靴・長靴) ゴミ袋
- ★できるだけ使い捨てを使わないよう、コップ・お箸・お椀をご持参ください。
- プレーパークにも食器を用意してあります。洗って戻してね。
- ★公園のごみは各自持ち帰りましょう。最後に清掃活動をしています。

